



氷上の華麗な舞いに感動

～クリスマスオンアイスin出雲・湖遊館～



サンタクロースの衣装で登場した荒川静香さん。「イナバウアー」に客席からは「わあ」と歓声が沸きおこりました



井上怜奈さん



恩田美栄さん



本田武史さん



田村岳斗さん

12月8日、ウィンタースポーツの普及と競技人口の拡大を図るために、トリノオリンピック金メダリストの荒川静香さんを始め、国内外のフィギュアスケーターによるアイスショー「クリスマスオンアイスin出雲・湖遊館」を昼と夜の2回公演で開催しました。

ダイナミックなジャンプや笑いを誘うパフォーマンスなど、それぞれのスケーターが氷上で個性あふれる演技を披露。荒川静香さんが登場すると会場の盛り上がりは最高潮に達し、会場を埋め尽くした3200人(2回公演)の観客は、世界を魅了した華麗な技の数々に釘付けになりました。

来場者は「イナバウアーを生で見るのができて感動した」「すごい迫力で楽しかった」と目を輝かせていました。



地元のジュニアスケーターも会場を沸かせました

いずもの話題

TOWN NEWS

みんなでつくる安全安心のネットワーク! ～出雲市安全で安心なまちづくり決起集会～



「犯罪件数などが年々減っているのは警察だけではなく、ボランティアによるところが大きい。各機関が連携できる体制ができ、非常に心強い」と話す出雲警察署井上捜査統括官(11月30日 出雲市消防本部)

市では、自然災害、事故、犯罪、健康侵害、いじめ・不登校、弱者虐待、家庭内暴力、環境破壊の8つの脅威に対し、市民や関係行政機関が情報を共有しながら協働し、安全で安心な地域づくりを目指すため「出雲市安全で安心なまちづくり条例」を9月に制定しました。

11月30日には、出雲市消防本部で、出雲市安全で安心なまちづくり決起集会を開き、市民団体や関係行政機関など約100人が出席し、意見交換を行いました。それぞれ異なる分野の活動団体などが一堂に会したのは初めてのことであり、他団体の取り組み事例から、共通課題や対応策を意識するなど、みんなでつくる安全安心のネットワークの出発点となりました。

憧れのプロ野球選手 和田毅投手と交流

～第3回和田毅杯少年野球大会～



子どもたちに握手を求められる和田投手

出雲市出身のプロ野球選手で、現在、福岡ソフトバンクホークスで活躍する和田投手が創設した「和田毅杯少年野球大会」の決勝トーナメントが11月10日から開催されま

した。決勝トーナメントでは、県内16チームが参加し熱戦を繰り広げ、12月16日には、和田投手が観戦する中、決勝戦が出雲ドームで行われ、佐田スサノオドラゴンズが準優勝に輝きました。

表彰式の後に行われた交流会では、憧れの和田投手と〇×クイズやキャッチボール、抽選会などの催しで盛り上がり、子どもたちは、目を輝かせながら和田投手からのアドバイスに耳を傾けました。プロ野球選手を夢見る子どもたちにとって、和田投手との交流は一生の思い出となったようです。



和田投手と楽しそうにキャッチボールする少年